外付型　HDユニット　オンラインガイド

このたびは弊社製外付け型HDユニットをお求めいただきまことにありがとうございました。
このオンラインガイドでは、ハードディスクのフォーマット方法をはじめ、製品の取り扱い方法についてガイドしています。
下のボタンから、ご参照になりたい製品をクリックしてください。

Logitec

LHD-EDU2/FU2　オンラインガイド

このたびは弊社製外付け型HDユニットをお求めいただきまことにありがとうございました。
このオンラインガイドでは、ハードディスクのフォーマット方法をはじめ、製品の取り扱い方法についてガイドしています。
下のボタンから、ご参照になりたい項目をクリックしてください。

先頭に戻る

LHD-EDU2 シリーズをご使用の場合

- ご使用のパソコンの仕様によっては、PC 電源連動機能が正常に動作しない場合があります。その場合は背面の電源スイッチにて電源の ON/OFF を切り替えてください。
- 動作中のケーブルの抜き差しおよび電源スイッチの操作は絶対に行わないでください。不要なリセットや動作異常を招き、データが消失する恐れがあります。
- Windows 98（Second Editon 含む）にて、本製品を接続してご使用の際、スタンバイ状態から復帰時にシステムが不安定になるような場合は、スタンバイ（省電力）を OFF に設定してください。
- 本製品を接続した状態でパソコンを起動する際、PC 電源連動機能により、本製品の電源が ON/OFF を繰り返す場合がありますが、問題ありませんのでそのままご使用ください。
- 本製品を USB 2.0 ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものを使用してください。USB 1.1 用ケーブルで USB 2.0 ポートに接続して本製品を使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生することがあります。
  USB 1.1ポートへ接続して使用する際もなるべく付属のUSB 2.0対応ケーブルをご使用ください。
- 本製品はバスパワーでは動作しません。ご使用の際は、必ず付属の電源アダプタを AC100V のコンセントに接続して電源を供給してください。

LHD-EDFU2 シリーズをご使用の場合

- ご使用のパソコンの仕様によっては、PC電源連動機能が正常に動作しない場合があります。その場合は背面の電源スイッチにて電源のON/OFFを切り替えてください。
- 動作中のケーブルの抜き差しおよび電源スイッチの操作は絶対に行わないでください。不要なリセットや動作異常を招き、データが消失する恐れがあります。
- Windows 98（Second Editon含む）にて、本製品を接続してご使用の際、スタンバイ状態から復帰時にシステムが不安定になるような場合は、スタンバイ（省電力）をOFFに設定してください。
- 本製品を接続した状態でパソコンを起動する際、PC電源連動機能により、本製品の電源がON/OFFを繰り返す場合がありますが、問題ありませんのでそのままご使用ください。
- 本製品をUSB 2.0ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものを使用してください。USB 1.1用ケーブルでUSB 2.0ポートに接続して本製品を使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生することがあります。
  USB 1.1ポートへ接続して使用する際もなるべく付属のUSB 2.0対応ケーブルをご使用ください。
- 本製品のIEEE1394インターフェースとUSBインターフェースを両方同時に接続することはできません。
- 本製品はバスパワーでは動作しません。ご使用の際は、必ず付属の電源アダプタをＡＣ１００Ｖのコンセントに接続して電源を供給してください。
- 本製品のIEEE1394ポートはバスパワー出力には対応しておりません。本製品の後にIEEE1394機器を増設する場合は、増設側の機器がセルフパワーで電源を得られる物でなければなりません。
- IEEE1394はメーカーによって「FireWire」、もしくは「i.LINK」などと呼ばれることがありますが、すべて同じものをさします。本書の中では「IEEE1394」で呼称を統一します。

使用環境について

本製品の使用環境は、接続形態により異なります。ご使用になる接続形態の項目をクリックしてください。

USB 接続の場合

IEEE1394 接続の場合

USB 接続の場合

製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合の使用条件は以下の通りです。※最近の情報は弊社 Web サイトをご参照ください。

○対応パソコン

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のパソコン本体に接続可能です。すべてUSBポートを搭載している機種に限定されます。また、High-Speedでの転送を実現するためにはパソコン本体のインターフェースがUSB 2.0に対応していなければなりません。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	Mac mini eMac iBook、iBook G4 iMac、iMac G5 Power Mac G5 Power Mac G4、Power Mac G4 Cube Power Macintosh G3 (Blue and White) PowerBook G4、PowerBook (FireWire) PowerBook G3（BronzeKeyborard）

○対応 OS

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合には、以下の OS をご使用ください。すべて日本語版OSのみに限定されます。また、パソコン本体が対応していないOSでは使用することができません。

マイクロソフト株式会社

- Windows XP Home Edition / Professional
- Windows Me
- Windows 98 (Second Edition 含む）
- Windows 2000 Professional

アップルコンピュータ社

- Mac OS X 10.1 以降（※）
- Mac OS 9.0.4 〜 9.2.2 まで（※）

※ USB2.0 接続にてご使用の場合は、Mac OS X 10.2 以降となります。

IEEE1394 接続の場合

製品を IEEE1394 インターフェースに接続する場合の使用条件は以下の通りです。※最近の情報は弊社 Web サイトをご参照ください。

○対応パソコン

本製品をIEEE1394インターフェースに接続する場合は、以下のパソコン本体に接続可能です。すべてIEEE1394ポートを標準搭載している機種に限定されます。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	Mac mini iMac G5、iMac（USB 2.0）、 iMac（Flat Panel）、iMac（Early 2001） iMac DV eMac Power Mac G5 Power Mac G4、Power Mac G4 Cube iBook G4、iBook（Late 2001 以降） iBook（Dual USB）、iBook（FireWire） PowerBook G4 PowerBook（FireWire）

○対応 OS

本製品をIEEE1394インターフェースに接続する場合には、以下のOSをご使用ください。すべて日本語版OSのみに限定されます。また、パソコン本体が対応していないOS では使用することができません。

マイクロソフト株式会社

Windows XP Home Edition / Professional
Windows Me
Windows 98 Second Edition（※ 1）
Windows 2000 Professional

※ 1IEEE1394 アップデータ要導入
Second Edition でない Windows 98 では使用できません。

アップルコンピュータ社

Mac OS X 10.1 以降
Mac OS 9.1 〜 9.2.2まで

フォーマット（初期化）について

ここではハードディスクのフォーマット方法について、ご使用の OS ごとにご説明いたします。
参照したい OS のボタンをクリックしてください。

Windows 環境でフォーマットを行う場合

Macintosh環境でフォーマットを行う場合

注意！

○ フォーマットを行うと、それまでにハードディスク内に保存されていたデータは、全て消去されます。大切なデータは、必ず、あらかじめバックアップを取っておいてください。

ポイント

○ 本製品を Windows XP、2000 でご使用になる場合は、NTFS 形式で再フォーマットすることをお勧めします。NTFS は Windows 2000 から採用されたファイル形式で、データの信頼度が高く 4GB を超えるファイルを扱うことができます。ただし、NTFS 形式で再フォーマットした場合、Windows Me、98 ではご使用になれません。

Windows 環境でフォーマットを行う場合

Windows 環境でフォーマットを行う場合は、「Logitec HD サポートツール」の「Format」画面より実行します。

本製品を接続すると、「Logitec HD サポートツール」の「Format」画面が右のように表示されますので、ここで「フォーマット」ボタンをクリックしてください。

このボタンをクリック

実行の画面に切り替わりますので、「フォーマットの開始」ボタンをクリックすると、フォーマットが実行されます。

※ Windows XP、2000 の場合は、「NTFS 形式」を選択することをお勧めします。
なお、Windows Me、98 では表示されません。

「フォーマットの開始」をクリック

ポイント

「Logitec HD サポートツール」から、フォーマット用ソフトウェアをインストールして、フォーマットを行うこともできます。
フォーマット用ソフトウェアのインストール方法、使用方法については右のボタンをクリックしてください。

CD-ROM からフォーマットソフトをインストールする場合

CD-ROMからフォーマットソフトをインストールする場合

本オンラインガイドが収録されている「Logitec HD サポートディスク」には、ハードディスクを複数のパーティションに分けてフォーマットができる「Logitec ディスクフォーマッタ」が収録されています。
「Logitec ディスクフォーマッタ」のインストール方法、使用方法については、下の項目をクリックしてください。

ディスクフォーマッタのインストール方法

ディスクフォーマッタの使い方

参考

- 各OSに標準搭載のフォーマット機能を使用してフォーマットを行う場合は、ご使用のOSのオンラインヘルプ等をご参照ください。

ディスクフォーマッタのインストール方法

「Logitec ディスクフォーマッタ」のインストールは、「Logitec HD サポートディスク」をパソコンにセットして自動起動する「Logitec HD サポートツール」の画面より、

①「Software」タブを選択し、
② ソフトウェアの一覧から、「Logitec ディスクフォーマッタ」のボタンをクリックしてください。

自動的に、セットアップウィザードが起動しますので、この後はウィザードの指示に従ってインストールを進めてください。

ディスクフォーマッタの使い方

ハードディスクを複数のパーティションに分割して使用する場合、「Logitec ディスクフォーマッタ」を使用します。フォーマット手順は以下をご参照ください。

①はじめに、本製品をパソコンに接続してください。

誤って他のハードディスクをフォーマットしないよう、本製品以外の外付け型ハードディスクは全て取り外しておきます。また、内蔵のハードディスクが複数ある場合、誤ってフォーマットしないようあらかじめ、ドライブ名を確認して、フォーマットの際に選択しないようにしてください。

②「Logitec ディスクフォーマッタ」を起動します。

「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから、「(すべての) プログラム」→「Logitec」→「ディスクフォーマッタ」とポイントして、「Logitec ディスクフォーマッタ」をクリックしてください。(デフォルトの状態でインストールした場合)

また、デスクトップにショートカットが作成されますので、デスクトップ上に表示される右のアイコンをダブルクリックすることによっても起動可能です。

ポイント

- 「Logitec ディスクフォーマッタ」の詳細な使用方法については、「Logitec ディスクフォーマッタ」の「ユーザーズガイド」をご参照ください。

③ フォーマッタが起動したら、「ドライブの選択」リストで、分割してフォーマットを行うハードディスクを選択して、「設定／実行」タブをクリックしてください。

④ 選択したハードディスクに関する情報が表示されます。
また、FAT32 ファイルシステムを使用したい場合は、「このドライブで FAT32 ファイルシステムを使用する」チェックボックスをチェックしてください。（このチェックボックスをチェックするためには、「オプション」メニューの「環境設定」で FAT32 ファイルシステムが使用できるように設定されていなければなりません。）

ご注意

- 間違ったドライブを選択しないように十分ご注意ください。
- フォーマットを行うと、ハードディスクに保存されているデータはすべて消去され、復旧することはできません。フォーマット対象のハードディスク内にデータが残っている場合、重要なデータはあらかじめバックアップをとっておいてください。

⑤ 次にツールバーの「オプション」から「フォーマット情報の削除」をクリックしてください。

⑥ 確認のメッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックしてください。

⑦ フォーマット情報の削除が行われ、終了すると以下のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

⑧ メインウィンドウに戻りますので「設定／実行」タブをクリックしてください。

⑨ 新規のハードディスクをフォーマットする場合は、すべての容量が「区画の選択」に「空き領域」として表示されます。ここからまず最初のドライブとなる区画の容量を指定します。「区画容量の指定」で「割り当てる容量」を入力するか、スライダをドラッグして容量を指定してください。

※ Windows XP、2000をご使用の場合は、ここでファイルシステムを「NTFS」にすることをお勧めします。

⑩ 容量の指定が終了したら、最初のドライブとなる区画のフォーマットを行います。必要に応じて「ボリュームラベル」（ハードディスクの名前：半角11文字以内／全角5文字以内の任意の文字列を入力可能）を入力し、「実行」ボタンをクリックしてください。

⑪ 確認のメッセージが表示されます。フォーマットしてもよいことを確認してから、「はい」ボタンをクリックしてください。

⑫ 最初のドライブとなる区画のフォーマットが実行されます。終了すると、以下のウィンドウが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。

⑬ メインウィンドウに戻ります。このドライブにはまだ「空き領域」が残っています。（下図の「区画の選択」の「No.1」を参照してください。）この空き領域は２番目のドライブとしてフォーマットすることができます。空き領域を２番目のドライブとしてすべてフォーマットする場合は、「区画容量の指定」は変更しないで、そのまま「実行」ボタンをクリックしてください。

※ もし、ハードディスクを３つ以上のドライブに分割する場合は、手順⑨と同様に「区画容量の指定」で２番目のドライブの容量を指定してから、「実行」ボタンをクリックしてください。

⑭ ⑪～⑫と同じ手順で２番目のドライブのフォーマットを実行してください。
以上でフォーマットは終了です。

Macintosh環境でフォーマットを行う場合

Macintosh 環境では、フォーマットは OS 標準の機能を使用します。
それぞれの OS のフォーマット手順は、下の項目をクリックしてご参照ください。

参照したい項目をクリックしてください。

Mac OS X でのフォーマット方法

Mac OS 9 でのフォーマット方法

ポイント

○ 本製品を Macintosh 環境のみでご使用になる場合は、「Mac OS 拡張」形式にて再フォーマットすることをお勧めします。「Mac OS 拡張」形式は、大容量ハードディスクを Macintosh 環境で使用するのに最適なフォーマット形式です。ただし、「Mac OS 拡張」形式で再フォーマットした場合、Windows 環境からはアクセスできなくなります。

Mac OS X でのハードディスクのフォーマット手順は、以下をご参照ください。

フォーマット手順

ハードディスクのフォーマットには Mac OS X 標準のフォーマッタソフトウェア「ディスクユーティリティ（Disk Utility)」を使用します。

本製品をはじめて接続した際に､｢今セットしたディスクはMac OS X で読み込めないボリュームが含まれています。｣というメッセージウィンドウが表示された場合は、ウィンドウ下部にある「初期化」ボタンをクリックして、手順④へお進みください。

① 本製品を接続後、メニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択してください。

選択

②「アプリケーション」ウィンドウが表示されます。ここで「ユーティリティ」フォルダをダブルクリックしてください。

ダブルクリック

③「ユーティリティ」フォルダの一覧の中から、「ディスクユーティリティ」をダブルクリックしてください。

ダブルクリック

ポイント

- Mac OS X 10.0.4 ～ 10.1.5 の環境では、フォルダ名やウィンドウ名に「Application」､「Utilities」等、一部アルファベットが使用されています。

④ Mac OS X の標準フォーマッタ「ディスクユーティリティ」が起動します。以下のように設定してフォーマットを行ってください。

1. 本製品のドライブ名を選択
2. 「消去」タブを選択
3. ボリュームフォーマットの欄で「Mac OS 拡張」を選択
4. 「名前」の欄に、本製品の名前を入力。(本製品がデスクトップにマウントされる際、ここに入力した名前が表示されるようになります)
5. 「消去」ボタンをクリック

⑤ 確認のメッセージウィンドウが表示されますので「消去」ボタンをクリックしてください。フォーマットが実行されます。

! 次ページの注意事項を必ずご参照ください。

ご注意

- すでにご使用の他のドライブを選択しないように十分ご注意ください。
- Mac OS 9 環境でもご使用になる場合は、名前の下にある「Mac OS 9 ディスクドライバをインストール」のチェックボックスにチェックを入れてください。
（但し、このチェックボックスは Mac OS X のみ搭載モデルの場合、表示されない場合があります。）

ポイント

- フォーマットは「Mac OS 拡張」を推奨します。「Mac OS 標準」は旧 Mac と互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。

Mac OS 9 でのフォーマット方法

Mac OS 9 でのハードディスクのフォーマット手順は、以下をご参照ください。

①「アップル」メニューから「コントロールパネル」→「機能拡張マネージャ」を開き、「File Exchange」を「停止」して、コンピュータを再起動してください。

② パソコンが再起動後、本製品を接続すると「このディスクはこのコンピュータでは読めません。ディスクを初期化しますか？」というメッセージとともに初期化のウィンドウが表示されます。ここで、必要に応じて名前を入力し、フォーマット形式に「Mac OS 拡張」を選択し、「初期化」ボタンをクリックします。

※「名前」を入力すると、本製品がデスクトップにマウントされる際、その名前が表示されるようになります。

※ 初期化が終わったら、「File Exchange」を「ON」に戻しておきます。

ポイント

- フォーマット形式は「Mac OS 拡張」を推奨します。「Mac OS 標準」は旧バージョンの Mac OS と互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。
- デスクトップ上の本製品のドライブアイコンをクリックし「特別」から「ディスクの初期化」をクリックしても、フォーマットを行うことは可能ですが、この方法で初期化を行う場合、「DOS（FAT32)」形式でフォーマットされているハードディスクはフォーマット形式の変更はできません。
いったん、Mac OS 拡張でフォーマット後に、再フォーマットを行う場合などにご使用ください。

便利な機能

ここでは、各シリーズや接続形態に固有の機能について補足説明をいたします。
参照したい項目をクリックしてください。

PC 電源連動機能について

本製品はPC電源連動機能を搭載しています。
PC 電源連動機能とは、パソコンの電源の ON/OFF に連動して本製品の電源の ON/OFF を切り替える機能のことです。

いったん本製品の電源モード SW を「AUTO」にしてパソコンに接続すれば、後はパソコンの電源のON/OFF に連動して本製品の電源も ON/OFF されます。本製品の電源の ON/OFF は下表のように切り替わります。

動作	電源モードスイッチ	
	AUTO時	ON時
起動中のパソコンに接続した時	ON	常にON
接続先のパソコンの電源をONにしたとき	ON	
接続先のパソコンがスリープや省電力モードから復帰したとき	ON	
IEEE 1394/USB ケーブルを外したとき	OFF	
パソコンがシャットダウンしたとき	OFF	
パソコンがスリープや省電力モードになったとき	OFF	

注意！

- Windows 98（Second Editon 含む）にて、本製品を接続してご使用の際、スタンバイ状態から復帰時にシステムが不安定になるような場合は、スタンバイ（省電力）を OFF に設定してください。

サイレント機能について

サイレント機能は、本製品に一定時間データの読み書きが無い場合にドライブの回転を停止し、気になる音や振動をカットする機能です。

1）ドライブの回転を停止することで、気になるドライブ音を無音状態にできます。
2）ドライブの回転を停止するまでの時間は、「Power Saving Setting」で自由に設定できます。
3）設定内容は本製品が記憶していますので、他の環境に接続した場合も機能します。
4）ドライブの回転が停止状態であっても、本製品にアクセスするとすぐに復帰します。

対応OS：
Windows XP,2000

設定ツール「Power Saving Setting」のインストール方法：
「Logitec HD サポートディスク」をパソコンにセットして自動起動する「Logitec HD サポートディスク」の画面より、
①「Software」タブを選択し、
②ソフトウェアの一覧から、「LHD-ED ツール」のボタンをクリックしてください。

自動的に、セットアップウィザードが起動しますので、この後はウィザードの指示に従ってインストールを進めてください。

設定方法：

1．本製品をパソコンに接続します。

2．「Power Saving Setting」を起動します。
「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「（すべての）プログラム」→「Logitec」→「LHD-ED ツール」とポイントして、「Power Saving Setting」をクリックしてください。（デフォルトの状態でインストールした場合）

3．設定ツールが起動したら、「Hard Disk Device」から本製品を選択して、「Set The Timer」のプルダウンリストでドライブの回転を停止させるまでのタイマー時間を選択してください。

設定可能タイマー時間：
Never：タイマー設定なし
1minute：1 分
5minute：5 分
10minute：10 分
20minute：20 分
30minute：30 分
1hour：1 時間
2hour：2 時間

4．タイマー時間を選んだら「SETTING」ボタンをクリックしてください。
以上でタイマー時間の設定は完了です。「Close」ボタンをクリックして、設定ツールを終了してください。

5．本製品に対して読み書きが無い状態で、設定されたタイマー時間が経過すると、ドライブの回転が停止します。
この状態で本製品の電源表示ランプは一定間隔で「点滅」を行います。

ライトプロテクト機能について

ライトプロテクト機能は、本製品への書き込みを禁止する機能です。

対応OS：

Windows XP, 2000（FAT32 フォーマットのみ）, Me, 98（Second Edition 含む）

Mac OS X

※ Mac OS 9.2.2 までの環境には未対応

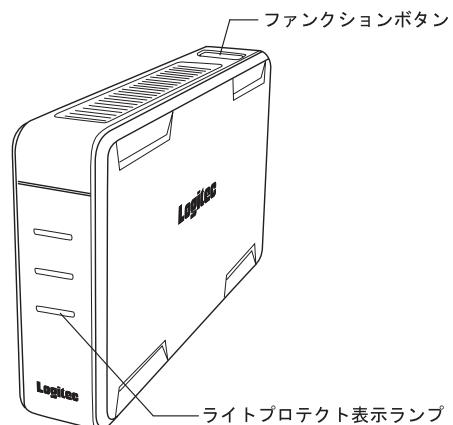
設定方法：

1．本製品天面の「ファンクションボタン」を押し続けます。（3 秒以上）

2．フロントパネルの「Write Protect ランプ」が点灯します。

これで、ライトプロテクト機能が有効になります。

参考：ライトプロテクト機能を無効にする場合は、「ファンクションボタン」を押し続け（3 秒以上)、「Write Protect ランプ」が消灯すれば、無効となります。

ご注意

・パソコンに接続中にライトプロテクトの有効／無効の設定を行うと、一旦パソコンから切り離されます。全てのデータを閉じてから設定を行ってください。

簡単アンプラグ機能について

簡単アンプラグ機能は、本製品天面の「ファンクションボタン」の操作により、簡単に取り外し／再接続（再認識）を行うことができる機能です。

対応 OS：

Windows XP,2000

アンプラグツール「Button Manager」のインストール方法：

「Logitec HD サポートディスク」をパソコンにセットして自動起動する「Logitec HD サポートディスク」の画面より、

①「Software」タブを選択し、

②ソフトウェアの一覧から、「LHD-ED ツール」のボタンをクリックしてください。

自動的に、セットアップウィザードが起動しますので、この後はウィザードの指示に従ってインストールを進めてください。

インストールが完了すると、タスクトレイに「Button Manager」のアイコンが表示されます。

取り外し方法：

1．本製品天面の「ファンクションボタン」を押してください。

2．取り外し処理が完了すると、以下のウィンドウが表示されますので「OK」ボタンをクリックして、本製品を取り外してください。

Windows XP の場合：

Windows 2000 の場合：

3．以上で取り外し処理は完了です。

再接続（再認識）方法：

本製品の取り外しを実行した後、パソコンから取り外していない状態（ケーブル接続状態）であれば、以下の手順で本製品の再接続（再認識）を行うことができます。

1．本製品天面の「ファンクションボタン」を押してください。

2．「マイコンピュータ」に本製品のドライブアイコンが表示されれば、再接続（再認識）は完了です。

Macintosh での起動ディスクの設定 （IEEE1394 接続時のみ）

Macintosh 環境で IEEE1394 接続にてご使用の場合、本製品を起動ディスクとして使用することができます。ここではその設定方法についてご説明いたします。

起動ディスクとして使用可能なＯＳ

•Mac OS X 10.1 以降

※ Mac OS 9.1 〜 9.2.2 までの環境で本製品を起動ディスクとして使用することはできません。

以下のモデルではパソコン側の仕様上の制限により起動ディスクに設定することができません。

• Power Mac G4 (PCI Graphics)

以下のモデルで起動ディスクとして使用する場合、パソコン本体のファームウェアのバージョンを「2.4」以上にする必要があります。詳細は、アップルコンピュータ社の Web サイトをご参照ください。

• iMac DV
• Power Mac G4 (AGP Graphics)
• PowerBooK (FireWire)

■設定方法

Mac OS X の場合

①アップルメニューから「システム環境設定」を選択し「起動ディスク」をダブルクリックして開いてください。

②本製品のシステムフォルダをクリックして選択状態にして、「再起動」ボタンをクリックしてください。

注意事項

・インストールの際は必ずハードディスクを Mac OS 拡張にてフォーマットしてください。本製品の出荷時フォーマットである「DOS」フォーマットや「Mac OS 標準」フォーマットではシステムが正しく起動しない場合があります。これらのフォーマットでの使用はサポート対象外とさせていただきます。

・本製品を起動ディスクに設定する場合は、必ず Mac OS X のインストール CD-ROM から本製品へシステムをインストールしてください。他の起動ディスクからシステムのコピーを行った場合、本製品を起動ディスクとしてご使用になれません。

・システム起動中に絶対に IEEE1394 ケーブルまたは AC アダプタを抜かないでください。

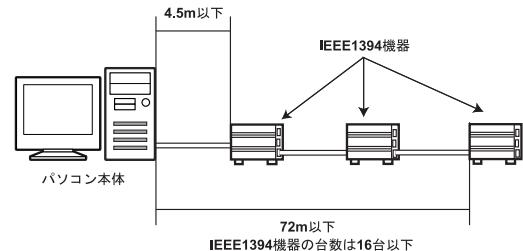
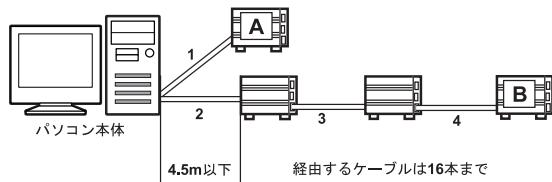
・本製品からのシステム起動中はスリープ機能には対応いたしません。

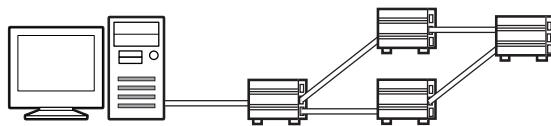
・起動ディスクに設定する場合は、電源モードスイッチを「ON」に設定してください。

IEEE1394 機器の増設について（IEEE1394 接続時のみ）

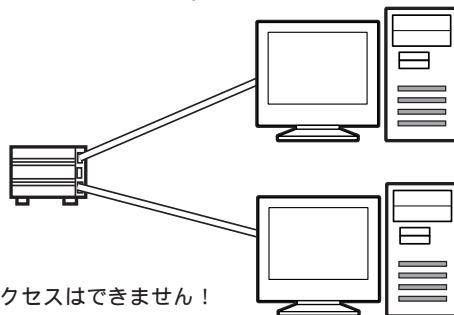
IEEE1394 コネクタが複数装備されている IEEE1394 機器は、パソコンとの接続に使用していないコネクタを使って IEEE1394 機器の数珠繋ぎによる増設（デイジーチェーン型）を行うことができます。

IEEE1394 機器は、数珠繋ぎによる増設（デイジーチェーン型）と、接続を分岐させる増設（ツリー方）の２つの方法で、機器を増設することができます。

- デイジーチェーン型では、１本のケーブルの長さは最大 4.5m まで、ケーブル長の合計は最大 72m までに制限されます。また IEEE1394 機器の台数は 16 台以下（パソコン本体を含まない）に制限されます。

- ツリー型では、１本のケーブルの長さは 4.5m まで、IEEE1394 機器間で経由できるケーブルの本数に最大 16 本という制限があります。接続台数は 62 台以下（パソコン本体を含まない）ですが、Windows 環境ではストレージ機器の台数はドライブ文字の限界（A:〜 Z:でシステムが使用していないもの）に制限されます。

■ツリー型で増設する場合の注意

ツリー型で増設を行う場合、接続中にループ（たどってゆくと元に戻ってしまう接続）があってはいけません。

どれか１本のケーブルを外せばループが解消されるので OK です。

■その他の注意

複数のパソコンが１台の IEEE1394 機器を同時に使用することはできません。

同時にアクセスはできません！

故障かな？と思ったら

本製品を接続したが認識されない。

A **ケーブルは正しく接続されていますか？**

パソコン側、本製品側共に正しく差し込まれているかを確認してください。

A **本製品をハブ経由で接続していませんか？**

その場合は、パソコンのポートに本製品だけを直接接続して試してみてください。
ご使用の製品がバスパワー対応の場合、ハブから電源供給量だけでは、本製品が使用できない場合があります。また、USB接続の場合は、バッテリ駆動時にUSBポートからの電源供給を行わない機種もあります。

本製品を接続したが認識されない（続き）。

特定のOSで認識されない場合、フォーマット形式が、そのOSでは対応していない可能性があります。
本製品を再フォーマットした場合、フォーマット形式が、ご使用のOSに合ったものであるかをご確認ください。

フォーマット 形式 (ファイルシステム)	本製品の対応OSでの制限事項
NTFS	Windows XP、2000 で使用するためのフォーマット 形式です。 Mac OS X 10.3 以降では読み込みのみサポート しています。 **Windows Me、98、Mac OS 9.1 ～ 9.2.2 、Mac OS X 10.0.4 ～ 10.2.8 環境では認識されません。**
FAT 32	Windows 環境では全て認識されます。 Mac OS X 10.0.4 ～ 10.1.5では認識されません。 Mac OS X 10.2以降の場合、ハード ディスク の容量が120 GBを超えると 、容量制限の問題から 認識されません。 Mac OS 9環境では、File Exchange が必要です。
HFS /HFS + （ Mac OS 標準 /Mac OS 拡張 ）	Mac OS専用のフォーマット 形式です。 **Macintosh環境で、このフォーマット 形式でフォーマット した場合、Windows環境では認識されなく なり ます。**

Q 本製品から、システム起動ができない。

A ご使用のOSおよび、接続形態をご確認ください。

本製品はMac OS X 10.1以降の環境でIEEE1394接続時の場合以外は、システムを起動することはできません。また、上記の環境でご使用の場合も、起動ディスクに設定するには、いくつか条件がございます。詳しくは「Macintoshでの起動ディスクの設定」をご参照ください。

Q Windows XP,2000で「ディスクの管理」が起動できない。

A 管理者権限のあるユーザーとしてログオンしていますか？

「ディスクの管理」を起動するには、管理者権限を持つユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrator」）としてログオンしていなければなりません。

Q スリープ状態から復帰できない。

A パソコンのスリープ（サスペンド）状態の処理方法によりこのような現象が発生する場合があります。ご使用のパソコンによっては、パソコン本体メーカから供給されるアップデートプログラムなどによりこの現象を回避できる場合もあります。スリープ状態から復帰できない場合は、スリープ（サスペンド）機能をOFFにしてご使用ください。

本製品の物理フォーマットができない。

A 本製品は物理フォーマットをサポートしていません。論理フォーマット（通常のフォーマット）のみでご使用ください。

Q USB接続時にデータの転送速度が遅い。

A USB 2.0 のポートに正しく接続されていますか。

○ USB 1.1 のポートに接続されている場合、データの転送速度は Full-Speed(12Mbps）までとなります。High-Speed（480Mbps）でデータ転送を行うには USB 2.0 ポートに接続してください。

○ パソコン本体にUSB 2.0ポートがない場合は別売りのUSB 2.0インターフェースボード（PCI用インターフェースボード、もしくは CardBus 対応 USB 2.0 インターフェースカード）をご使用ください。

オプション品について

弊社ではインターフェースボードやケーブルなどを別売品として取り扱っております。オプション品のお求めは、お買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求めください。

ロジテックダイレクトホームページ

http://www.logitec-direct.jp

■ PCI バス用 USB 2.0 インターフェースボード

型番	バス	備考
LHA-USB2VA	PCI	インターフェースボード単体 Windows XP,Me,98,2000対応

■ CardBus 対応 USB 2.0 インターフェースカード

型番	バス	備考
LPM-CBUSB2HB	CardBus	インターフェースカード単体 Windows,Mac OS X 10.3以降対応

■ USB 2.0 High-Speed 対応ケーブル

型番	長さ	備考
CB-USB2AMB-010	1.0m	シリーズA-mini B

■ IEEE1394 ケーブル

型番	長さ	備考
CB-I66-021S	2.1m	6ピン-6ピン
CB-I66-011S	1.1m	
CB-I66-006S	0.6m	
CB-I64-021S	2.1m	6ピン-4ピン
CB-I64-011S	1.1m	
CB-I64-006S	0.6m	

ハードウェア仕様

機種名			LHD-EDU2シリーズ	LHD-EDFU2シリーズ
インターフェース			USB 2.0 High-Speed（USB 1.1互換）	IEEE 1394 USB 2.0 High-Speed（USB 1.1互換）
ディスク回転数			7,200 rpm	7,200 rpm
最大データ転送速度 *1			480M bps（USB High-Speed） 12M bps（USB Full-Speed）	400M bps（IEEE 1394） 480M bps（USB High-Speed） 12M bps（USB Full-Speed）
コネクタ形状			USB mini-B	IEEE 1394 6ピン ×1 IEEE 1394 4ピン ×1 USB mini-B ×1
環境条件 *2	動作時	温度	5℃～35℃	5℃～35℃
		相対湿度	20%～80%	20%～80%
	保管時	温度	-20℃～50℃	-20℃～50℃
		相対湿度	20%～80%	20%～80%
入力電圧(ACアダプタ)			AC 100V　50／60Hz	AC 100V　50／60Hz
消費電力(定格)			15W (ACアダプタ含む)	15W (ACアダプタ含む)
外形寸法(幅×奥行き×高さ) *3			42×225×132.5mm	42×225×132.5mm
質量			1.1 kg	1.1 kg

*1 理論値
*2 ただし結露なきこと
*3 本体のみ

※記憶容量については、製品のパッケージをご確認ください。

保証とサービスについて

製品には、保証書が添付されています。

- 保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

- 修理品については、弊社サービス窓口 にお送りいただくか、お求めいただいた販売店へご相談ください。
故障かどうか判断がつかない場合は、事前に下記弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

※ 弊社サービス窓口およびテクニカルサポートの連絡先については、**次ページの「ユーザーサポート窓口のご案内」をご参照ください**

- 保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。

- 保証期間終了後の修理につきましては、「テクニカルサポートセンター」までご連絡ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理させていただきます。（修理に代わって同等品と交換させていただく事があります）なお、補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）の最低保有期間は、製品終息後５年間です。

ユーザーサポート窓口のご案内

● 製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対するお問い合わせ

お問い合わせの際に次の①～③の内容をご確認の上、 弊社「テクニカルサポート」までお問い合わせください。

①現在の状態（できるだけ詳しく）
②製品の名称 / シリアル番号（保証書に記載されています）
③ご購入年月日、ご購入先

テクニカルサポート連絡先（ナビダイヤル）

〒396-0192　長野県伊那市美すず六道原８２６８　ロジテック株式会社　テクニカルサポート
TEL.　0570-022-022　FAX.　0570-033-034
受付時間：　月曜日～金曜日　9：00～12：00、13：00～18:00（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

※携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX共）、ひかり（光）電話（TEL、FAX共）、IP電話（TEL、FAX共）はご利用になれません。

● 郵送または宅配便にて修理依頼される場合のお願い

- 送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- 保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
- 必ず、「お客様のご連絡先（ご住所 / 電話番号）」「故障の状態」を書面にて添付してください。
- 保証期間経過後の修理については、お見積もりの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、製品に添付してください。
- ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）等に入れて、お送りください。

修理品送付先

〒396-0192　長野県伊那市美すず六道原8268
ロジテック（株）修理サポートセンター（３番受入窓口）

TEL：0265-74-1423　FAX：0265-74-1403
受付時間：　月曜日～金曜日　9：00～12：00、13：00～17:00（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

Logitec

ＬＨＤ−EDＳＡＵ２シリーズ　オンラインガイド

このたびは弊社製外付け型HDユニットをお求めいただきまことにありがとうございました。
このオンラインガイドでは、ハードディスクのフォーマット方法をはじめ、製品の取り扱い方法についてガイドしています。
下のボタンから、ご参照になりたい項目をクリックしてください。

先頭に戻る

使用上のご注意

- ○ eSATAポートとUSBポートの両方を同時に接続することはできません。
- ○ ご使用のパソコンの仕様によっては、PC電源連動機能が正常に動作しない場合があります。その場合は背面の電源モードスイッチをONに切り替えてください。
- ○ 本製品をeSATA接続時に起動ディスクとして使用する場合は、電源モードスイッチは必ずONの状態でご使用ください。また、このときは省電力機能もOFFにしておく必要があります。省電力機能の設定方法については「システムスタンバイの設定」をご参照ください。
- ○ 動作中のケーブルの抜き差しは絶対に行わないでください。不要なリセットや動作異常を招き、データが消失する恐れがあります。
- ○ Windows 98（Second Editon含む）にて、本製品を接続してご使用の際、スタンバイ状態から復帰時にシステムが不安定になるような場合は、スタンバイ（省電力）をOFFに設定してください。
- ○ 本製品を接続した状態でパソコンを起動する際、PC電源連動機能により、本製品の電源がON/OFFを繰り返す場合がありますが、問題ありませんのでそのままご使用ください。
- ○ 本製品をUSB 2.0ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものを使用してください。USB 1.1用ケーブルでUSB 2.0ポートに接続して本製品を使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生することがあります。
  USB 1.1ポートへ接続して使用する際もなるべく付属のUSB 2.0対応ケーブルをご使用ください。
- ○ 本製品はバスパワーでは動作しません。ご使用の際は、必ず本製品のACアダプタをAC100Vのコンセントに接続して電源を供給してください。
- ○ 本製品をeSATAポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものを使用してください。

使用環境について

本製品の使用環境は、接続形態により異なります。ご使用になる接続形態の項目をクリックしてください。

eSATA 接続の場合

USB 接続の場合

eSATA 接続の場合

製品を eSATA インターフェースに接続する場合の使用条件は以下の通りです。

○対応パソコン

本製品を eSATA インターフェースに接続する場合は、以下のパソコン本体に接続可能です。また、NCQ を有効とするためには、インターフェースが NCQ に対応している必要があります。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ

※ eSATAポートを搭載しているまたは搭載可能な機種に限定されます。

アップルコンピュータ社	Power Mac G5

※ 接続には本製品付属の eSATA ブラケットが必要です。
※ Power Mac G5 は、NCQ には対応していません。

eSATA ブラケットの取り付け方法

○対応 OS

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合には、以下の OS をご使用ください。すべて日本語版OSのみに限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

マイクロソフト株式会社

Windows XP Home Edition / Professional Service Pack 1以降
Windows 2000 Professional Service Pack 4以降

アップルコンピュータ社

Mac OS X 10.2.8 以降

この項目の先頭に戻る

USB 接続の場合

製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合の使用条件は以下の通りです。

◯対応パソコン

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のパソコン本体に接続可能です。すべてUSBポートを搭載している機種に限定されます。また、High-Speedでの転送を実現するためにはパソコン本体のインターフェースがUSB 2.0に対応していなければなりません。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	MacBook Pro Mac mini eMac iBook、iBook G4 iMac、iMac G5 Power Mac G5 Power Mac G4、Power Mac G4 Cube Power Macintosh G3 (Blue and White) PowerBook G4、PowerBook (FireWire) PowerBook G3（BronzeKeyborard）

◯対応 OS

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合には、以下の OS をご使用ください。すべて日本語版OSのみに限定されます。また、パソコン本体が対応していないOSでは使用することができません。

マイクロソフト株式会社

Windows XP Home Edition / Professional
Windows Me
Windows 98 (Second Edition 含む)
Windows 2000 Professional

アップルコンピュータ社

Mac OS X 10.1 以降（※）
Mac OS 9.0.4 ～ 9.2.2 まで（※）

※ USB2.0 接続にてご使用の場合は、Mac OS X 10.2 以降となります。

eSATA ブラケットの取り付け方法

ここでは本製品に付属の eSATA ブラケットをパソコンに取り付ける方法についてご説明いたします。
参照したい項目をクリックしてください。

Power Mac G5への取り付け方法

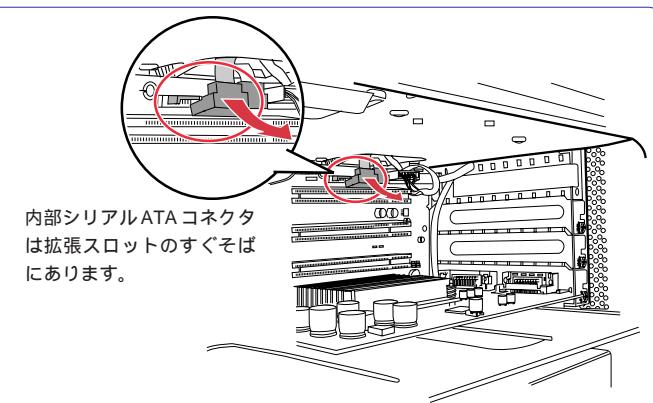
DOS/V マシンへの取り付け方法

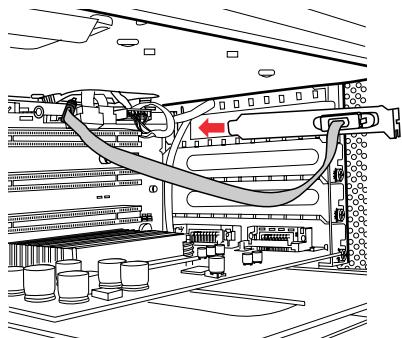
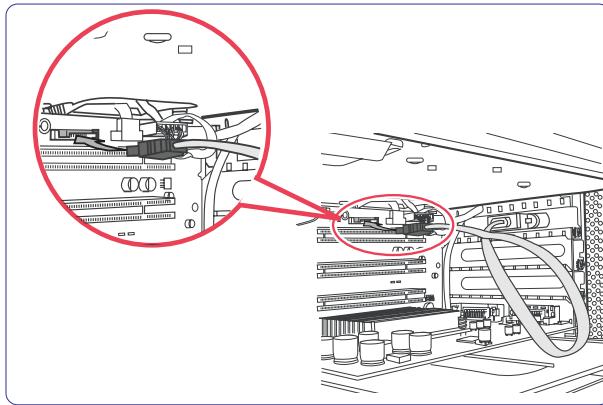
Power Mac G5への取り付け方法

　ここではPower Mac G5の拡張スロットのアクセスカバーに本製品付属の拡張スロット用eSATAブラケットを取り付け、内部のシリアルATAコネクタに、ブラケットの内部シリアルATAコネクタを取り付ける手順についてご説明いたします。
取り付けは、必ずコンピュータの電源を切り、内部温度が上昇していない状態で、静電気や怪我に注意して行ってください。

① はじめに「Power Mac G5　設置ガイド」内の「コンピュータの内部を扱う作業」を参照して、コンピュータのカバーを取り外し、次にエアディフレクタを取り外してください。

② 次に、現在Power Mac G5で使用されていない内部シリアルATAコネクタ（通常は向かって左側になります）を取り外します。

※ 内部シリアルATAコネクタは拡張スロットのすぐそばにあります。

③ 拡張スロットのポートアクセスカバーを取り外し、付属の拡張スロット用eSATAブラケットを取り付けます。

取り外すポートアクセスカバーの位置は特にどこでも構いませんが、一番上のカバーを取り外すことをお勧めします。

④ **拡張スロット用**eSATA**ブラケットのコネクタを、**Power Mac G5**内部のシリアル**ATA**コネクタに接続します。**

⑤ **接続後、エアディフレクタを元に戻し、カバーを取り付けてください。**

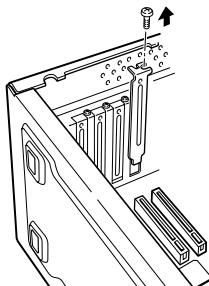
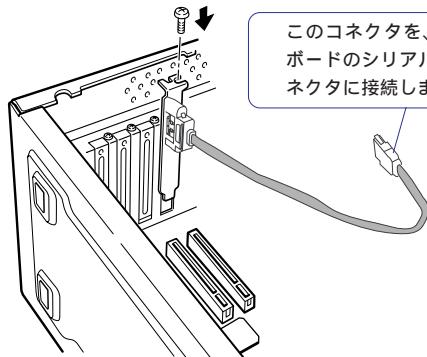
DOS/V マシンへの取り付け方法

ここでは、本製品に付属の拡張スロット用eSATAブラケットの取り付け方法についてご説明いたします。PCIバススロットの位置や接続手順はパソコン本体によって異なりますので、詳細についてはパソコン本体の取扱説明書をご参照ください。また、パソコン本体によって取り付けに特殊な金具が必要な機種もありますので、あらかじめ、パソコン本体の取扱説明書で確認してご用意ください。

接続時に内部ショートが発生すると電源が ON になる場合があります。感電や火災を防止するため、必ず電源コードをコンセントから外してください。

① 必ずパソコン本体の電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。

② パソコン本体の取扱説明書などを参照して、パソコン本体のカバーを取り外します。

③ 拡張スロット用 eSATA ブラケットを取り付ける PCI バスの拡張スロットを選択し、スロットカバーを取り外します。

④ 拡張スロット用 Serial ATA ブラケットを PCI バスの拡張スロットに挿し込み、ネジで固定し、ブラケットの内側に伸びているシリアルATAケーブルの先のコネクタを、マザーボード上にあるシリアルATAコネクタへ接続してください。

⑤ すべての接続が終了したら、パソコン本体のカバーを元に戻します。このとき、ケーブルなどを挟み込まないようにご注意ください。

フォーマット（初期化）について

ここではハードディスクのフォーマット方法について、ご使用の OS ごとにご説明いたします。
参照したい OS のボタンをクリックしてください。
なお、本製品に OS を新規インストールする場合は、OS のインストール中にフォーマットを行います。詳しくは「補足説明」内の「起動ドライブとして使用する場合」をご参照ください。

Windows 環境でフォーマットを行う場合

Macintosh環境でフォーマットを行う場合

注意！

○ フォーマットを行うと、それまでにハードディスク内に保存されていたデータは、全て消去されます。大切なデータは、必ず、あらかじめバックアップを取っておいてください。

ポイント

○ 本製品を Windows XP、2000 でご使用になる場合は、NTFS 形式で再フォーマットすることをお勧めします。NTFS は Windows 2000 から採用されたファイル形式で、データの信頼度が高く 4GB を超えるファイルを扱うことができます。ただし、NTFS 形式で再フォーマットした場合、Windows Me、98 ではご使用になれません。

Windows 環境でフォーマットを行う場合

Windows 環境でフォーマットを行う場合は、「Logitec HD サポートツール」の「Format」画面より実行します。

本製品を接続すると、「Logitec HD サポートツール」の「Format」画面が右のように表示されますので、ここで「フォーマット」ボタンをクリックしてください。

このボタンをクリック

実行の画面に切り替わりますので、「フォーマットの開始」ボタンをクリックすると、フォーマットが実行されます。

※ Windows XP、2000 の場合は、「NTFS 形式」を選択することをお勧めします。
なお、Windows Me、98 では表示されません。

「フォーマットの開始」をクリック

ポイント

「Logitec HD サポートツール」から、フォーマット用ソフトウェアをインストールして、フォーマットを行うこともできます。
フォーマット用ソフトウェアのインストール方法、使用方法については右のボタンをクリックしてください。

CD-ROM からフォーマットソフトをインストールする場合

CD-ROMからフォーマットソフトをインストールする場合

本オンラインガイドが収録されている「Logitec HD サポートディスク」には、ハードディスクを複数のパーティションに分けてフォーマットができる「Logitec ディスクフォーマッタ」が収録されています。
「Logitec ディスクフォーマッタ」のインストール方法、使用方法については、下の項目をクリックしてください。

ディスクフォーマッタのインストール方法

ディスクフォーマッタの使い方

参考

- 各OSに標準搭載のフォーマット機能を使用してフォーマットを行う場合は、ご使用のOSのオンラインヘルプ等をご参照ください。

ディスクフォーマッタのインストール方法

「Logitec ディスクフォーマッタ」のインストールは、「Logitec HD サポートディスク」をパソコンにセットして自動起動する「Logitec HD サポートツール」の画面より、

①「Software」タブを選択し、
② ソフトウェアの一覧から、「Logitec ディスクフォーマッタ」のボタンをクリックしてください。

自動的に、セットアップウィザードが起動しますので、この後はウィザードの指示に従ってインストールを進めてください。

ディスクフォーマッタの使い方

ハードディスクを複数のパーティションに分割して使用する場合、「Logitec ディスクフォーマッタ」を使用します。フォーマット手順は以下をご参照ください。

①はじめに、本製品をパソコンに接続してください。

誤って他のハードディスクをフォーマットしないよう、本製品以外の外付け型ハードディスクは全て取り外しておきます。また、内蔵のハードディスクが複数ある場合、誤ってフォーマットしないようあらかじめ、ドライブ名を確認して、フォーマットの際に選択しないようにしてください。

②「Logitec ディスクフォーマッタ」を起動します。

「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから、「(すべての) プログラム」→「Logitec」→「ディスクフォーマッタ」とポイントして、「Logitec ディスクフォーマッタ」をクリックしてください。(デフォルトの状態でインストールした場合)

また、デスクトップにショートカットが作成されますので、デスクトップ上に表示される右のアイコンをダブルクリックすることによっても起動可能です。

ポイント

・「Logitec ディスクフォーマッタ」の詳細な使用方法については、「Logitec ディスクフォーマッタ」の「ユーザーズガイド」をご参照ください。

③ フォーマッタが起動したら、「ドライブの選択」リストで、分割してフォーマットを行うハードディスクを選択して、「設定／実行」タブをクリックしてください。

④ 選択したハードディスクに関する情報が表示されます。
また、FAT32 ファイルシステムを使用したい場合は、「このドライブで FAT32 ファイルシステムを使用する」チェックボックスをチェックしてください。（このチェックボックスをチェックするためには、「オプション」メニューの「環境設定」で FAT32 ファイルシステムが使用できるように設定されていなければなりません。）

ご注意

・間違ったドライブを選択しないように十分ご注意ください。

・フォーマットを行うと、ハードディスクに保存されているデータはすべて消去され、復旧することはできません。フォーマット対象のハードディスク内にデータが残っている場合、重要なデータはあらかじめバックアップをとっておいてください。

⑤ 次にツールバーの「オプション」から「フォーマット情報の削除」をクリックしてください。

⑥ 確認のメッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックしてください。

⑦ フォーマット情報の削除が行われ、終了すると以下のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

⑧ メインウィンドウに戻りますので「設定／実行」タブをクリックしてください。

⑨ 新規のハードディスクをフォーマットする場合は、すべての容量が「区画の選択」に「空き領域」として表示されます。ここからまず最初のドライブとなる区画の容量を指定します。「区画容量の指定」で「割り当てる容量」を入力するか、スライダをドラッグして容量を指定してください。

※ Windows XP、2000 をご使用の場合は、ここでファイルシステムを「NTFS」にすることをお勧めします。

⑩ 容量の指定が終了したら、最初のドライブとなる区画のフォーマットを行います。必要に応じて「ボリュームラベル」(ハードディスクの名前：半角11文字以内／全角5文字以内の任意の文字列を入力可能) を入力し、「実行」ボタンをクリックしてください。

⑪ 確認のメッセージが表示されます。フォーマットしてもよいことを確認してから、「はい」ボタンをクリックしてください。

⑫ 最初のドライブとなる区画のフォーマットが実行されます。終了すると、以下のウィンドウが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。

⑬ メインウィンドウに戻ります。このドライブにはまだ「空き領域」が残っています。（下図の「区画の選択」の「No.1」を参照してください。）この空き領域は２番目のドライブとしてフォーマットすることができます。空き領域を２番目のドライブとしてすべてフォーマットする場合は、「区画容量の指定」は変更しないで、そのまま「実行」ボタンをクリックしてください。

※ もし、ハードディスクを３つ以上のドライブに分割する場合は、手順⑨と同様に「区画容量の指定」で２番目のドライブの容量を指定してから、「実行」ボタンをクリックしてください。

⑭ ⑪～⑫と同じ手順で２番目のドライブのフォーマットを実行してください。

以上でフォーマットは終了です。

Macintosh環境でフォーマットを行う場合

Macintosh 環境では、フォーマットは OS 標準の機能を使用します。
それぞれの OS のフォーマット手順は、下の項目をクリックしてご参照ください。

参照したい項目をクリックしてください。

Mac OS X でのフォーマット方法

Mac OS 9 でのフォーマット方法

ポイント

○ 本製品を Macintosh 環境のみでご使用になる場合は、「Mac OS 拡張」形式にて再フォーマットすることをお勧めします。「Mac OS 拡張」形式は、大容量ハードディスクを Macintosh 環境で使用するのに最適なフォーマット形式です。ただし、「Mac OS 拡張」形式で再フォーマットした場合、Windows 環境からはアクセスできなくなります。

Mac OS X でのフォーマット方法

Mac OS X でのハードディスクのフォーマット手順は、以下をご参照ください。

フォーマット手順

ハードディスクのフォーマットには Mac OS X 標準のフォーマッタソフトウェア「ディスクユーティリティ（Disk Utility）」を使用します。

本製品をはじめて接続した際に､｢今セットしたディスクはMac OS Xで読み込めないボリュームが含まれています。｣というメッセージウィンドウが表示された場合は、ウィンドウ下部にある「初期化」ボタンをクリックして、手順④へお進みください。

① 本製品を接続後、メニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択してください。

選択

② 「アプリケーション」ウィンドウが表示されます。ここで「ユーティリティ」フォルダをダブルクリックしてください。

ダブルクリック

③ 「ユーティリティ」フォルダの一覧の中から、「ディスクユーティリティ」をダブルクリックしてください。

ダブルクリック

Mac OS X 10.0.4 ～ 10.1.5 の環境では、フォルダ名やウィンドウ名に「Application」、「Utilities」等、一部アルファベットが使用されています。

④ Mac OS X の標準フォーマッタ「ディスクユーティリティ」が起動します。以下のように設定してフォーマットを行ってください。

1. 本製品のドライブ名を選択
2. 「消去」タブを選択
3. ボリュームフォーマットの欄で「Mac OS 拡張」を選択
4. 「名前」の欄に、本製品の名前を入力。（本製品がデスクトップにマウントされる際、ここに入力した名前が表示されるようになります）
5. 「消去」ボタンをクリック

⑤ 確認のメッセージウィンドウが表示されますので「消去」ボタンをクリックしてください。フォーマットが実行されます。

！次ページの注意事項を必ずご参照ください。

ご注意

- すでにご使用の他のドライブを選択しないように十分ご注意ください。
- Mac OS 9環境でもご使用になる場合は、名前の下にある「Mac OS 9ディスクドライバをインストール」のチェックボックスにチェックを入れてください。
  （但し、このチェックボックスはMac OS Xのみ搭載モデルの場合、表示されない場合があります。）

ポイント

- フォーマットは「Mac OS 拡張」を推奨します。「Mac OS 標準」は旧Macと互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。

Mac OS 9 でのフォーマット方法

Mac OS 9 でのハードディスクのフォーマット手順は、以下をご参照ください。

①「アップル」メニューから「コントロールパネル」→「機能拡張マネージャ」を開き、「File Exchange」を「停止」して、コンピュータを再起動してください。

② パソコンが再起動後、本製品を接続すると「このディスクはこのコンピュータでは読めません。ディスクを初期化しますか？」というメッセージとともに初期化のウィンドウが表示されます。ここで、必要に応じて名前を入力し、フォーマット形式に「Mac OS 拡張」を選択し、「初期化」ボタンをクリックします。

※「名前」を入力すると、本製品がデスクトップにマウントされる際、その名前が表示されるようになります。

※ 初期化が終わったら、「File Exchange」を「ON」に戻しておきます。

ポイント

- フォーマット形式は「Mac OS 拡張」を推奨します。「Mac OS 標準」は旧バージョンの Mac OS と互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。
- デスクトップ上の本製品のドライブアイコンをクリックし「特別」から「ディスクの初期化」をクリックしても、フォーマットを行うことは可能ですが、この方法で初期化を行う場合、「DOS（FAT32）」形式でフォーマットされているハードディスクはフォーマット形式の変更はできません。
  いったん、Mac OS 拡張でフォーマット後に、再フォーマットを行う場合などにご使用ください。

便利な機能

ここでは、各シリーズや接続形態に固有の機能について補足説明をいたします。
参照したい項目をクリックしてください。

PC 電源連動機能について

本製品は PC 電源連動機能を搭載しています。
PC 電源連動機能とは、パソコンの電源の ON/OFF に連動して本製品の電源の ON/OFF を切り替える機能のことです。

いったん本製品の電源モード SW を「AUTO」にしてパソコンに接続すれば、後はパソコンの電源の ON/OFF に連動して本製品の電源も ON/OFF されます。本製品の電源の ON/OFF は下表のように切り替わります。

● USB 接続時

動作	電源モードスイッチ	
	AUTO時	ON時
起動中のパソコンに接続した時	ON	常にON
接続先のパソコンの電源をOFFにした時	OFF	
接続先のパソコンがスリープや 省電力モードから復帰した時	ON	
USBケーブルを外した時	OFF	
パソコンがシャットダウンしたとき	OFF	
パソコンがスリープや省電力モード になった時	OFF	

● eSATA 接続時

動作	電源モードスイッチ	
	AUTO時	ON時
起動先のパソコンの電源をONにした時	ON	常にON
接続先のパソコンの電源をOFFにした時	OFF	
接続先のパソコンがスリープや 省電力モードから復帰した時	ON	
eSATAケーブルを外した時	OFF	
パソコンがシャットダウンしたとき	OFF	
パソコンがスリープや省電力モード になった時	OFF	

※ eSATA 接続時は、インターフェースがホットプラグに対応していない場合は、常に電源スイッチは常に「ON」にしておいてください。

※ eSATA 接続時に、本製品からシステムを起動させる場合、電源を常に「ON」にし、スリープモードや省電力機能は OFF にしてください。

注意！（共通）

- Windows 98（Second Editon 含む）にて、本製品を接続してご使用の際、スタンバイ状態から復帰時にシステムが不安定になるような場合は、スタンバイ（省電力）を OFF に設定してください。

サイレント機能について

サイレント機能は、本製品に一定時間データの読み書きが無い場合にドライブの回転を停止し、気になる音や振動をカットする機能です。

1）ドライブの回転を停止することで、気になるドライブ音を無音状態にできます。
2）ドライブの回転を停止するまでの時間は、「Power Saving Setting」で自由に設定できます。
3）設定内容は本製品が記憶していますので、他の環境に接続した場合も機能します。
4）ドライブの回転が停止状態であっても、本製品にアクセスするとすぐに復帰します。

対応 OS：
　Windows XP,2000（USB 接続時のみ）

設定ツール「Power Saving Setting」のインストール方法：
　「Logitec HD サポートディスク」をパソコンにセットして自動起動する「Logitec HD サポートディスク」の画面より、
　①「Software」タブを選択し、
　②ソフトウェアの一覧から、「LHD-ED ツール」のボタンをクリックしてください。

自動的に、セットアップウィザードが起動しますので、この後はウィザードの指示に従ってインストールを進めてください。

設定方法：

1．本製品をパソコンに接続します。

2．「Power Saving Setting」を起動します。
「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「（すべての）プログラム」→「Logitec」→「LHD-ED ツール」とポイントして、「Power Saving Setting」をクリックしてください。（デフォルトの状態でインストールした場合）

3．設定ツールが起動したら、「Hard Disk Device」から本製品を選択して、「Set The Timer」のプルダウンリストでドライブの回転を停止させるまでのタイマー時間を選択してください。

設定可能タイマー時間：
Never：タイマー設定なし
1minute：1 分
5minute：5 分
10minute：10 分
20minute：20 分
30minute：30 分
1hour：1 時間
2hour：2 時間

4．タイマー時間を選んだら「SETTING」ボタンをクリックしてください。
以上でタイマー時間の設定は完了です。「Close」ボタンをクリックして、設定ツールを終了してください。

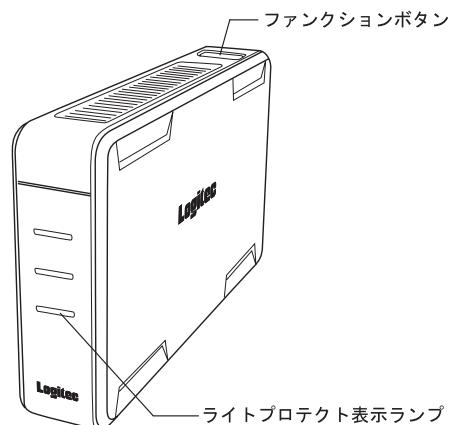
5．本製品に対して読み書きが無い状態で、設定されたタイマー時間が経過すると、ドライブの回転が停止します。
この状態で本製品の電源表示ランプは一定間隔で「点滅」を行います。

ライトプロテクト機能について

ライトプロテクト機能は、本製品への書き込みを禁止する機能です。

対応OS：（USB 接続時のみ）
Windows XP, 2000（FAT32 フォーマットのみ）, Me, 98（Second Edition 含む）
Mac OS X
※ Mac OS 9.2.2 までの環境には未対応

設定方法：
1．本製品天面の「ファンクションボタン」を押し続けます。（3 秒以上）
2．フロントパネルの「Write Protect ランプ」が点灯します。
これで、ライトプロテクト機能が有効になります。
参考：ライトプロテクト機能を無効にする場合は、「ファンクションボタン」を押し続け（3 秒以上)、「Write Protect ランプ」が消灯すれば、無効となります。

ご注意
・パソコンに接続中にライトプロテクトの有効／無効の設定を行うと、一旦パソコンから切り離されます。全てのデータを閉じてから設定を行ってください。

簡単アンプラグ機能について

簡単アンプラグ機能は、本製品天面の「ファンクションボタン」の操作により、簡単に取り外し／再接続（再認識）を行うことができる機能です。

対応OS：
　Windows XP,2000（USB接続時のみ操作可能）

アンプラグツール「Button Manager」のインストール方法：
　「Logitec HD サポートディスク」をパソコンにセットして自動起動する「Logitec HD サポートディスク」の画面より、
　①「Software」タブを選択し、
　②ソフトウェアの一覧から、「LHD-ED ツール」のボタンをクリックしてください。

自動的に、セットアップウィザードが起動しますので、この後はウィザードの指示に従ってインストールを進めてください。

インストールが完了すると、タスクトレイに「Button Manager」のアイコンが表示されます。

取り外し方法：
1．本製品天面の「ファンクションボタン」を押してください。
2．取り外し処理が完了すると、以下のウィンドウが表示されますので「OK」ボタンをクリックして、本製品を取り外してください。

Windows XP の場合：

Windows 2000 の場合：

3．以上で取り外し処理は完了です。

再接続（再認識）方法：
本製品の取り外しを実行した後、パソコンから取り外していない状態（ケーブル接続状態）であれば、以下の手順で本製品の再接続（再認識）を行うことができます。

1．本製品天面の「ファンクションボタン」を押してください。
2．「マイコンピュータ」に本製品のドライブアイコンが表示されれば、再接続（再認識）は完了です。

補足説明

取り外しについて

ここでは本製品の取り外し方法を接続別にご説明いたします。参照する項目をクリックしてください。

eSATA 接続の場合

USB 接続の場合

ポイント

○ Mac OS X 環境では eSATA 接続の場合、ご使用のマシン ,eSATA I/F の仕様により、コンピュータの起動中に取り外しを行える場合（ホットプラグ対応）と、行えない場合（ホットプラグ未対応）があります。詳しくはご使用の Macintosh マシン ,eSATA I/F の仕様をご確認ください。

eSATA 接続の場合

○ Windows XP、2000 環境の場合、eSATA 接続時の取り外しは、付属の CD-ROM からアンプラグツールをインストールして行います。なお、インストールする際、管理者権限のあるユーザーとしてシステムにログオンしていなければいけない点にご注意ください。

インストール方法

「Logitec eSATA アンプラグツール」のインストールは、「Logitec HD サポートディスク」をパソコンにセットして自動起動する「Logitec HD サポートツール」の画面より、①「Software」タブを選択し、②ソフトウェアの一覧から、「Logitec eSATA アンプラグツール」のボタンをクリックしてください。

インストールウィザードが起動するので、この後は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

> 本製品をeSATAブラケットに接続してご使用になる場合、取り外しを行うには、マザーボード側がアンプラグに対応している必要があります。詳しくは、マザーボードのマニュアルをご参照ください。

取り外し方法

① 取り外しを行う機器内のデータファイルが開かれていないこと、機器に対してアクセスが行われていないことを確認してください。

② タスクバーにアンプラグツールのアイコンが表示されますので、これをクリックして表示されるメニューから、取り外しを行うデバイスをクリックしてください。取り外し処理が開始されます。

③ 取り外し処理が完了すると、「デバイスは取り外すことができます。」とメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックして、接続デバイスを取り外してください。

SATA HDD Unplug

デバイスは取り外すことができます。

OK

クリック

USB 接続の場合

Windows 環境の場合

①タスクトレイ上の「取り外し」のアイコンをクリックしてください。

- Windows XP の場合
- Windows 2000、Me、98 の場合

② USB記憶装置を取り外す項目が表示されますので、これをクリックしてください。

例（Windows XP の場合）

USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します

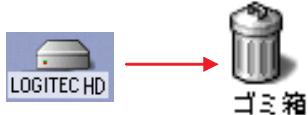
③「安全に取り外すことができます」のメッセージが表示されたら、USB ケーブルを外し、電源スイッチを OFF にして、AC コードをコンセントから取り外してください。

※ Windows 2000、Me、98 の場合は「OK」ボタンをクリックしてから取り外してください。

Macintosh 環境の場合

○ Mac OS X の場合は、本製品のアイコンをデスクトップ下の Dock にある「取り外し」アイコンに重ねてから、USB ケーブルを外し、電源スイッチを OFF にして、AC コードをコンセントから取り外してください。

「取り外し」のアイコンは、通常右のような「ゴミ箱」の形をしています。本製品などの取り外し可能な記憶装置を選択した場合に、「取り外し」のアイコンに変化します。

○ Mac OS 9の場合は本製品のアイコンをデスクトップにあるゴミ箱のアイコンに重ねてから、USBケーブルを外し、電源スイッチをOFFにして、ACコードをコンセントから取り外してください。

起動ドライブとして使用する場合(eSATA接続時のみ)

本製品を起動ドライブとして使用する場合は、以下の点にご注意ください。

- 弊社では、本製品への OS の再インストールに関する保証・サポートは一切行っておりません。これを行う場合は、ご自身の責任で行ってください。コンピュータに詳しい知識のない方には、起動ハードディスクの変更はお勧めいたしません。また、一般的に OS の再インストールや起動ドライブの変更などは、メーカーからの保証を受けにくくなります。
- メーカー製のパソコンなど、リカバリディスクなどから OS の再インストールを行うタイプのものは、本製品にリカバリ（OS の再インストール）はできません。
- OSの再インストール中に、インターフェースボードのドライバを読み込ませる必要があります。インターフェースボードのドライバは、マザーボード上の SATA コネクタを eSATA ブラケットで外に出すタイプと、PCIバスなどに拡張ボードを使用するものとで使用するドライバが異なります。詳しくはご使用のマザーボードまたはeSATAインターフェースボードのマニュアルをご参照ください。
- OSの再インストール時に、誤操作などにより、それまで使用していたシステムデータの消失を防ぐため、パソコン内部に接続されているハードディスクドライブに重要なデータがある場合は、あらかじめ別のメディアへデータのバックアップを行っておいてください。
- 本製品にOSを再インストール後にインターフェースボードのドライバを削除すると、BIOS から本製品が認識されなくなり、OS が起動しなくなります。

■インストール手順について

OS をインストールする際、SATA 用のドライバをインストール作業中に読み込ませる必要があります。
このドライバは、通常、マザーボードやインターフェースボードに付属の CD-ROM に収録されています。通所は、このドライバをフロッピーディスクなどにコピーして、OS のインストール中に読み込ませます。詳しくは、マザーボードまたはインターフェースボードのマニュアルをご参照ください。

パソコンの省電力機能の設定

eSATA接続時には、使用するドライバや使用用途により、省電力機能をOFFに設定しなければいけない場合があります。具体的には、本製品にOSを再インストールし、起動を行う場合、インターフェースボードのドライバがホットプラグに対応していない場合があげられます。
また、USB接続時に、省電力状態から復帰時にシステムが不安定になるような場合は、省電力機能をOFFに設定してください。
ここでは、省電力機能をOFFにする方法についてご説明いたします。

◯ WindowsXP、2000の場合

① Windows XP，2000で省電力機能をOFFにするには、「コントロールパネル」→「電源オプション」を起動します。（Windows XPの場合、これはクラシック表示での起動方法です。）

② 以下のウィンドウが表示されたら、「システムスタンバイ」、「システム休止状態」を「なし」にして、OKボタンをクリックしてください。（「システム休止状態」は下のように表示されない場合もあります。）

Windows XPの例

「なし」に設定

◯ Mac OS X 環境の場合

① 「アップル」メニューから「システム環境設定」をクリックし、「システム環境設定」ウィンドウの一覧の中から「省エネルギー」をクリックしてください。

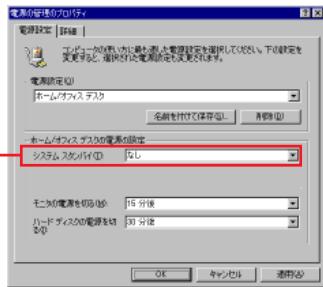
② 以下のウィンドウが表示されたら、「コンピュータがスリープするまでの待機時間」を「しない」に設定してください。

「しない」に設定

◯ Windows Me、98 Second Edition

- Windows Me,98 で省電力機能をOFF にするには､「コントロールパネル」→「電源の管理」を起動します。「電源設定」のウィンドウが表示されたら、「システムスタンバイ」を「なし」にして、「適用」ボタンをクリックしてください。

※ 「システムの休止状態」が表示されている場合は、こちらも「なし」にしてください。

Windows Me

Windows 98

◯ Mac OS 9.0.4 〜 9.2.2 の場合

① 「アップル」メニューから「コントロールパネル」→「省エネルギー設定」をクリックします。

② 「省エネルギー設定」ウィンドウで「スリープ設定」タブが選択されていることを確認します。

③ 「スリープ設定までの非動作時間」を「しない」に設定してウィンドウを閉じます。

この項目の先頭に戻る

サービスパックの確認について

Windows XP、2000をご使用で、ご使用のサービスパックのバージョンを確認する方法は次の通りです。

◯ Windows XP の場合

①「スタート」メニューから「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」を選択し、「システムのプロパティ」ウィンドウを表示させてください。

②「全般」タブが選択されていることを確認し、「システム」の項に、「Service Pack *x*」と表示されているかを確認してください。

Service Pack *x*（xの部分にはService Packのバージョンが表示されます）と表示されている場合は、これ以降のページを参照して本製品の接続とドライバのインストールを行ってください。

Service Pack *x* と表示されていない場合は、本製品を接続する前に Windows XP Service Pack1以降をインストールしてください。

※ Windows XP Service Pack は、マイクロソフト社のホームページからダウンロードするか、または、マイクロソフト社から Windows XP Service Pack の CD-ROM ディスクを入手（有償）する必要があります。（詳しくはマイクロソフト社のホームページをご参照ください。）

◯ Windows 2000 の場合

①「スタート」メニューから「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」を選択し、「システムのプロパティ」ウィンドウを表示させてください。

②「全般」タブが選択されていることを確認し、「システム」の項に、「Service Pack 4」と表示されているかを確認してください。

Service Pack 4と表示されている場合は、これ以降のページを参照して本製品の接続とドライバのインストールを行ってください。

Service Pack 4と表示されていない場合は、本製品を接続する前にWindows 2000 Service Pack 4をインストールしてください。

※ Windows 2000 Service Pack 4は、マイクロソフト社のホームページからダウンロードするか、または、マイクロソフト社から Windows 2000 Service Pack 4の CD-ROM ディスクを入手（有償）する必要があります。（詳しくはマイクロソフト社のホームページをご参照ください。）

オプション品について

弊社ではインターフェースボードやケーブルなどを別売品として取り扱っております。オプション品のお求めは、お買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求めください。

ロジテックダイレクトホームページ

http://www.logitec-direct.jp

■ PCI バス用 USB 2.0 インターフェースボード

型番	バス	備考
LHA-USB2V	PCI	インターフェースボード単体 Windows XP,Me,98,2000対応
LHA-USB2VA	PCI	インターフェースボード単体 Windows XP,Me,98,2000対応

■ PCI ／ PCI Express バス用 eSATA インターフェースボード

型番	バス	備考
LHA-SA32PE	PCI-Express	インターフェースボード単体 Windows XP，2000対応
LHA-SA152P	PCI	インターフェースボード単体 Windows XP，2000対応

■ CardBus 対応 USB 2.0 インターフェースカード

型番	バス	備考
LPM-CBUSB2HB	CardBus	インターフェースカード単体 Windows,Mac OS X 10.3以降対応

■ ExpressCard ／ CardBus 対応 eSATA インターフェースカード

型番	バス	備考
LPM-ECSA32	ExpressCard	インターフェースカード単体 Windows XP，2000対応
LPM-CBSA152	CardBus	インターフェースカード単体 Windows XP，2000対応

ここではHDユニットをご使用の際に寄せられる良くある質問についてお答えしております。参照したい項目をクリックしてください。

question

○本製品を接続したのですが認識されません。

A ❯❯❯ answer

○ ケーブルは正しく接続されていますか？

- パソコン側、本製品側共に正しく差し込まれているかを確認してください。

○ AC アダプタを接続して使用していますか？

- その場合は、電源スイッチの状態、電源コードを接続したコンセントの状態を確認してください。

○ 本製品をハブ経由で接続していませんか？

- その場合は、パソコンのポートに本製品だけを直接接続して試してみてください。
- ご使用の製品がバスパワー対応の場合、ハブから電源供給量だけでは、本製品が使用できない場合があります。また、USB 接続の場合は、バッテリ駆動時に USB ポートからの電源供給を行わない機種もあります。

Q question

○本製品を接続したのですが認識されません。(続き)

answer

○ 特定の OS で認識されない場合、フォーマット形式が、その OS では対応していない可能性があります。

- 本製品を再フォーマットした場合、フォーマット形式が、ご使用の OS に合ったものであるかをご確認ください。

フォーマット 形式 (ファイルシステム)	本製品の対応OSでの制限事項
NTFS	Windows XP、2000 で使用するためのフォーマット 形式です。 Mac OS X 10.3 以降では読み込みのみサポート しています。 **Windows Me、98、Mac OS 9.1 ～ 9.2.2 、Mac OS X 10.0.4 ～ 10.2.8 環境では認識されません。**
FAT 32	Windows 環境では全て認識されます。 Mac OS X 10.0.4 ～ 10.1.5では認識されません。 Mac OS X 10.2以降の場合、ハード ディスク の容量が120 GBを超えると 、容量制限の問題から 認識されません。 Mac OS 9環境では、File Exchange が必要です。
HFS /HFS + (Mac OS 標準 /Mac OS 拡張)	Mac OS専用のフォーマット 形式です。 **Macintosh環境で、このフォーマット 形式でフォーマット した場合、Windows環境では認識されなくなります。**

Q ❯❯❯ question

本製品から、システム起動ができません。

A ❯❯❯ answer

ご使用のOSおよび、接続形態をご確認ください。本製品はSATA接続時以外はシステム起動用ハードディスクとして使用することはできません。SATA接続をサポートしている場合でも、OSおよびマザーボードやインターフェースボードのマニュアルで示されている手順にしたがってOSをインストールしなければ、最悪の場合、コンピュータが起動しなくなるなどのトラブルも考えられます。
OSおよび、マザーボード、インターフェースボードのマニュアルを良くご確認ください。

Q ❯❯❯ question

Windows XP,2000で「ディスクの管理」が起動できません。

A ❯❯❯ answer

管理者権限のあるユーザーとしてログオンしていますか？
「ディスクの管理」を起動するには、管理者権限を持つユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrator」）としてログオンしていなければなりません。

Q ❯❯❯ question

スリープ状態から復帰できないのですが。

A ❯❯❯ answer

パソコンのスリープ（サスペンド）状態の処理方法によりこのような現象が発生する場合があります。ご使用のパソコンによっては、パソコン本体メーカから供給されるアップデートプログラムなどによりこの現象を回避できる場合もあります。
スリープ状態から復帰できない場合は、スリープ（サスペンド）機能をOFFにしてご使用ください。

ハードウェア仕様

<table>
<tr><th colspan="3">機種名</th><th>LHD-EDSAU2シリーズ</th></tr>
<tr><td colspan="3">インターフェース</td><td>Serial ATA Revision 2.5
USB 2.0 High-Speed（USB 1.1互換）</td></tr>
<tr><td colspan="3">ディスク回転数</td><td>7,200 rpm</td></tr>
<tr><td colspan="3">最大データ転送速度 *1</td><td>3Gbps（eSATA）
480M bps（USB High-Speed）
12M bps（USB Full-Speed）</td></tr>
<tr><td colspan="3">コネクタ形状</td><td>eSATA ×1
USB mini-B ×1</td></tr>
<tr><td rowspan="4">環境条件 *2</td><td rowspan="2">動作時</td><td>温度</td><td>5℃～35℃</td></tr>
<tr><td>相対湿度</td><td>20%～80%</td></tr>
<tr><td rowspan="2">保管時</td><td>温度</td><td>-20℃～50℃</td></tr>
<tr><td>相対湿度</td><td>20%～80%</td></tr>
<tr><td colspan="3">入力電圧（ACアダプタ）</td><td>AC 100V 50／60Hz</td></tr>
<tr><td colspan="3">消費電力（定格）</td><td>15W（ACアダプタ含む）</td></tr>
<tr><td colspan="3">外形寸法（幅×奥行き×高さ） *3</td><td>42×225×132.5mm</td></tr>
<tr><td colspan="3">質量</td><td>1.1 kg</td></tr>
</table>

*1 理論値

*2 ただし結露なきこと

*3 本体のみ

※記憶容量については、製品のパッケージをご確認ください。

保証とサービスについて

製品には、保証書が添付されています。

- 保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

- 修理品については、弊社サービス窓口 にお送りいただくか、お求めいただいた販売店へご相談ください。
  故障かどうか判断がつかない場合は、事前に下記弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

※ 弊社サービス窓口およびテクニカルサポートの連絡先については、**次ページの「ユーザーサポート窓口のご案内」をご参照ください**

- 保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。

- 保証期間終了後の修理につきましては、「テクニカルサポートセンター」までご連絡ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理させていただきます。（修理に代わって同等品と交換させていただく事があります）なお、補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）の最低保有期間は、製品終息後５年間です。

ユーザーサポート窓口のご案内

● 製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対するお問い合わせ

お問い合わせの際に次の①～③の内容をご確認の上、 弊社「テクニカルサポート」までお問い合わせください。

①現在の状態（できるだけ詳しく）
②製品の名称 / シリアル番号（保証書に記載されています）
③ご購入年月日、ご購入先

テクニカルサポート連絡先（ナビダイヤル）

〒396-0192　長野県伊那市美すず六道原８２６８　ロジテック株式会社　テクニカルサポート
TEL.　0570-022-022　FAX.　0570-033-034
受付時間：　月曜日～金曜日　9：00～12：00、13：00～18:00（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

※携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX共）、ひかり（光）電話（TEL、FAX共）、IP電話（TEL、FAX共）はご利用になれません。

● 郵送または宅配便にて修理依頼される場合のお願い

- 送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- 保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
- 必ず、「お客様のご連絡先（ご住所 / 電話番号）」「故障の状態」を書面にて添付してください。
- 保証期間経過後の修理については、お見積もりの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、製品に添付してください。
- ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）等に入れて、お送りください。

修理品送付先

〒396-0192　長野県伊那市美すず六道原8268
ロジテック（株）修理サポートセンター（３番受入窓口）

TEL：0265-74-1423　FAX：0265-74-1403
受付時間：　月曜日～金曜日　9：00～12：00、13：00～17:00（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）